

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について
第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 国 語 】

1 発行者番号・略称		17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名	
第1学年 第2学年 第3学年	国語・017-72 国語・017-82 国語・017-92	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3	
5 採択理由			
本教科用図書は、国語科の学習指導要領の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、生徒が「主体的・対話的で深い学び」ができるよう、「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせられるようにしている。この「学びナビ」が教材の最初に位置付けられていることで、教材あるいは単元で何を学ぶのかについて、生徒自身が見通しをもちやすい構成になっている。 また、「言葉と出会う」、「聞くということ」、「読むことで意味を作り出す」という単元を1年生の冒頭に配列することで、小学校での学習を踏まえて中学校の学習を展望できるようになっている。また、高等学校への繋がりや、読むことの学習に円滑につながるよう、高等学校の教科書で多く取り上げられている執筆者の文章を掲載している。			

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【書 写】

1 発行者番号・略称		17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名	
第 1 ・ 2 ・ 3 学年	書 写 ・ 017-72	中学書写	
5 採択理由			
本教科用図書は、国語科の学習指導要領の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 本の帯、新聞案内状等を作成することで、特に国語科、あるいは総合的な学習の時間、学校行事等との連携が図られている。各領域や他教科で扱う言語活動が充実していることで、学んだことを社会生活で活かせるように工夫されている。 「目標」において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして考えを広げたり深めたりできるよう学習活動が工夫されており、「毛筆」「硬筆」に限らず、生徒が主体的に書く喜びを感じられる構成になっている。			

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 社 会 （地理的分野）】

1 発行者番号・略称	17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1・2学年 地理的分野	地理・017-72	中学社会 地理 地域にまなぶ
5 採択理由		
本教科用図書は、社会科（地理的分野）の学習指導要領の目標 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、学習の導入場面において、「地理の学習をするにあたって」が設けられ、小学校の学習内容の接続が考慮されている。 また、CUD（カラーユニバーサルデザイン）の採用や、イラストの配置や文字の並びの工夫等全ての学習者の学びを保障する配慮がある。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 社 会 （歴史的分野）】

1 発行者番号・略称		17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名	
第1・3学年 歴史的分野	歴史・017-72	中学社会 歴史 未来をひらく	
5 採択理由			
本教科用図書は、社会科（歴史的分野）の学習指導要領の目標 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、歴史の学習の導入段階でゲームやクイズを活用したり、歴史への興味や関心を高められるように多くのページを割いたりするなど、学習の導入時を大事にしており、小学校の学習の仕方を踏まえて、中学校の歴史の学習の進め方について、丁寧に扱われている。 また、生徒が自分の地域に関心をもてるように、身近な地域の歴史を調べる学習のページが充実しており、66つの特設ページの1つひとつに、北海道の歴史が扱われ、そこではアイヌ民族と文化の保護が取り上げられている。			

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 社 会 （公民的分野）】

1 発行者番号・略称	17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第3学年	公民・017-92	中学社会 公民 とともに生きる
5 採択理由		
本教科用図書は、社会科（公民的分野）の学習指導要領の目標 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、「知識及び技能」を育成する学習活動への支援として、単元の最後に学習したことを整理しながらまとめる活動として「確認」のコーナーが設けられ、学習内容の確実な定着が図られるように構成されている。 また、SDGs（持続可能な開発目標）の取り扱いについて、公民の各単元に、単元の学習内容とSDGsの17のテーマとの関連生徒が直感的に理解できるようマークがついており、学びの関連が図られている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について
第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 地 図 】

1 発行者番号・略称	46・帝国	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1・2・3学年	地図・046-72	中学校社会科地図
5 採択理由		
本教科用図書は、社会科（地理的分野）の学習指導要領の目標 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、索引が左上上部に統一して載っているため、素早く直感的に探すことができる点で、生徒が使いやすいつくりになっている。 また、社会科と関連が深いものを分かりやすく表示していることや、地域の交通や人口、歴史的な変化が分かりやすく表現されているなど、産業の連関や時代の変化がわかるような資料や地図があり、学びが深まる要素がある。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 数 学 】

1 発行者番号・略称	17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1学年 第2学年 第3学年	数学・017-72 数学・017-82 数学・017-92	中学数学1 中学数学2 中学数学3
5 採択理由		
本教科用図書は、数学科の学習指導要領の目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、授業展開を問題解決的な学習を基本として、「学び合い、伝え合う、説明しよう、考えよう」などの言語活動が設定され、「思考力、判断力、表現力」の育成が図られるよう工夫されている。その上で、生徒に働かせてほしい「見方、考え方」には、吹き出しに「羅針盤マーク」を掲載するなどの工夫が見られる。 また、知識及び技能の確実な定着が図られるよう工夫されており、例題を生かして問題に取り組むことができるようにするなど、生徒が主体的に学習を進めることができるよう配慮されている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【理 科】

1 発行者番号・略称	17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1学年 第2学年 第3学年	理科・017-72 理科・017-82 理科・017-92	自然の探究 中学理科1 自然の探究 中学理科2 自然の探究 中学理科3
5 採択理由		
本教科用図書は、理科の学習指導要領の目標 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、課題を科学的に解決していく際に、土台となる「科学的な知識、技能」の取り扱いを5段階ステップで繰り返すなど丁寧に取り扱っている。 また北海道や上川管内との関わりのある内容の掲載が豊富で、身近な自然や事象を生かして生徒が意欲的に学習に取り組むことにつながる。 さらに、これまで学んできた学習との関連が分かりやすく示されているなど、学びの系統性も丁寧に取り扱われている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 音 楽（一般） 】

1 発行者番号・略称	17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1学年 第2・3学年 音楽(一般)	音楽・017-72 音楽・017-83 音楽・017-84	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
5 採択理由		
本教科用図書は、音楽科の学習指導要領の目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会 の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目 指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると ともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるよう にする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことがで きるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むととも に、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操 を培う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、「学習マップ」において、題材ごとに学びのねらいや学習する曲や活動、そ して、「学習の進め方」において、学びの手掛かりとなる〔共通事項〕を示し、さら には、学びを深めるための関連する曲や活動を示すことにより、学習内容や教材を関 連させて見通しをもつことができるようになっている。 また、曲の山場の部分を確認し、その部分の特徴をまとめる活動やフレーズや形式 を理解して、ブレスの取り方を工夫して歌ったりする活動など、考えを広げたり、深 めたりする活動が取り入れられている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 音 楽（器楽） 】

1 発行者番号・略称	17・教出	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1・2・3学年	器楽・017-72	中学器楽 音楽のおくりもの
5 採択理由		
本教科用図書は、音楽科の学習指導要領の目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会 の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目 指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると ともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるよう にする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことがで きるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むととも に、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操 を培う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、活動のポイントや運指図を確認できるようにしたり、動画コンテンツで模範 演奏を視聴したりして演奏する活動など、考えを広げたり、深めたりする活動が取り 入れられている。 また、弦楽器の鑑賞の発展において、樺太アイヌの楽器でトンコリが取り上げられ ている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 美 術 】

1 発行者番号・略称		38・光村	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名	
第1学年 第2・3学年	美術・038-72 美術・038-73 美術・038-82	美術1 美術1資料 美術2・3	
5 採択理由			
本教科用図書は、美術の学習指導要領の目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会 の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指 す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工 夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題 を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を 深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、 心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、限られた授業時間の中で創作意欲を高めるため、2次元コードのリンクから いろいろなアングルから作品を紹介したものや、創作の視点に関わるコンテンツにア クセスできるようにしている。 また、他者の工夫を共有することで、作品作りに向き合えるような配慮がされてい る。別冊の資料において3年間で学ぶ技法が網羅されており、それぞれのタイミング で振り返りながら自分の表現に生かしていくことができるつくりになっている。			

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 保健体育 】

1 発行者番号・略称	2・東書	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1・2・3学年	保体・002-72	新編 新しい保健体育
5 採択理由		
本教科用図書は、体育科の学習指導要領の目標 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、小学校や高等学校での学習内容が示され、系統性を確認できるように配慮されている。 また、動画コンテンツも多く用意されており、巻末の「スキルブック」に健康、安全に関わる20のスキルが資料として示されていて、二次元コードの動画と一緒に実践できるようになっている。 さらに、薬物、喫煙、飲酒について段階的に学べる構成になっているほか、巻末資料でSNS等スマートフォンの利用に関する学習ができるようになっている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 技術・家庭（技術分野） 】

1 発行者番号・略称	9・開隆堂	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1・2・3学年 技術分野	技術・009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
5 採択理由		
本教科用図書は、技術・家庭（技術分野）の学習指導要領の目標 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、生物育成の技術による問題解決学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習が取り上げられている。 また、紙面に「豆知識」や「チェック欄」が設けられ、「知識及び技能」の確実な定着を図る工夫がなされている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】

1 発行者番号・略称	9・開隆堂	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1・2・3学年 家庭分野	家庭・009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
5 採択理由		
本教科用図書は、技術・家庭（家庭分野）の学習指導要領の目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、衣食住の生活内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために、郷土料理や行事食を取り上げ、地域の雑煮を調べて調理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 また、写真のコマ数が多いため、調理過程が大変分かりやすく、教師にとっては指導しやすく、生徒にとっては自分で学習しやすい教科書となっている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 外国語 英語】

1 発行者番号・略称	2・東書	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名
第1学年 第2学年 第3学年	英語・002-72 英語・002-82 英語・002-92	NEW HORIZON English Course1 NEW HORIZON English Course2 NEW HORIZON English Course3
5 採択理由		
本教科用図書は、外国語科の学習指導要領の目標 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、「Sounds & Letters」では、音と文字の関係を扱い、小学校の音を中心にした学びから中学校での読み書きに慣れるよう配慮する構成になっており、学びの連続性に配慮されている。 また、新出単語に二次元コードが配置され、生徒がすぐにコミュニケーションに活用できるような工夫がされているなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。		

令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択教科書名及び採択理由等について

第6地区教科用図書採択委員会協議会

種目【 道 徳 】

1 発行者番号・略称		38・光村	
2 使用学年	3 教科書の記号・番号	4 教科書名	
第1学年 第2学年 第3学年	道徳・038-72 道徳・038-82 道徳・038-92	中学道徳1 きみがいちばんひかるとき 中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき	
5 採択理由			
本教科用図書は、特別の教科 道徳科の学習指導要領の目標 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 に照らし適切なものであり、教科の目標が達成できるようになっている。 特に、教材の配列ユニットが活かされ、自己の成長や社会生活に配慮した流れになっているほか、発問例を含めた教材の基本構成が、生徒の多様な視点を生かしやすいように構成されている。 また、実感を伴った学びとなるよう教材を発展的に配置し、より自分事として捉えられる構成にするなど、主体的な学びにつながるよう工夫されている。			